

報道関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会

平成28年度 第21回「音の匠」顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会などと共に、1994年に12月6日を「音の日」と制定しました。

この12月6日は発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて錫箔円筒式蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は1996年より、「音」および「音楽」を通じて、文化創造や社会貢献に卓越した能力を持ち、実践している「個人」、また「組織」を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第21回目にあたる本年度は、長年にわたる「音叉製作」の研究を通し、音楽業界は勿論のこと医療機器業界等への「音叉」の広範な応用を提案され、その高精度化と多用途化に向け大いなる努力と洞察を深められた、本田 泰（ほんだ ゆたか）氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成28年度「音の匠」

本田 泰（ほんだ ゆたか）氏

株式会社ニチオン 相談役
日本音叉研究所 所長

以上

（添付資料）

1. 顕彰者プロフィール
2. 「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>

